

## ②非農家の方の活動への思い

### 【H28調査結果】

#### 高木瀬町二俣環境保全会(佐賀市)

- 地区のゴミが少なくなり、集落の雰囲気が良くなった。
- 活動に参加するための日程調整が大変だが、地域の方と知り合えるいいきっかけとなった。

⇒日当等の支出も可能となり、ゴミ拾いだけでなく、草刈りにも参加するなど、活動の幅や回数が増えている。



#### 北鹿島ふるさと会

- 多面支払(旧農地・水)に取り組む前から共同活動を行っており、以前から思いは変わらない。
- 農業体験や水質保全活動を契機として農家と非農家の交流が深まった。

⇒広域組織においては、各種団体の役割が明確で母体も大きく、非農家の参画が多い。



#### 駒鳴集落を守る会(伊万里市)

- 本活動の認知度が広まってきているが、まだ多くの方は、制度内容を把握していない。賛同者、非賛同者がはっきりしている。
- 週末に活動が行われるが、スケジュールが早めに示されないと参加できない。

⇒非農家に対する制度や行事予定の周知が十分でなければ、非農家の参画率は低調となっている。

・本制度の取組を契機として、**非農家の参画が増え、地区の環境保全に対する意識が向上し、本制度以外の活動も増え、地域コミュニティの再形成に役立っている。**

・**非農家の参画率向上には、制度の目的や活動内容を広く周知し、早期にスケジュールを示すことが必要。**